

一般廃棄物処理施設の維持管理に関する情報の公表について

(平成27年度 甘楽西部環境衛生施設組合 清掃センター)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第4条の5の2に基づき、一般廃棄物の焼却施設である清掃センターの維持管理に関する情報を公表いたします。

1. 処分した一般廃棄物(可燃ごみ)の量 (規則 第4条の5の2第1項第1号 イ 関係)

区 分		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
焼却量	1号炉	t	106	106	113	107	107	109	112	96	114	104	102	110	1,286
	2号炉	t	104	103	110	105	109	106	108	95	111	104	100	108	1,263
合計焼却量		t	210	209	223	212	216	215	220	191	225	208	202	218	2,549

2. 燃焼室中の燃焼ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガス温度、排ガス中の一酸化炭素濃度(月平均値) (規則 第4条の5第1項第2号 ト、リ、ヲ 関係)

区 分		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
燃焼室中の燃焼ガス温度	1号炉	℃	917	941	923	911	923	921	931	909	920	920	928	923	922
	2号炉	℃	924	944	925	920	930	929	933	922	923	921	929	928	927
集じん器に流入する燃焼ガス温度	1号炉	℃	181	181	181	180	180	180	180	180	180	181	181	180	180
	2号炉	℃	181	181	181	180	180	180	180	180	180	181	181	180	180
排ガス中の一酸化炭素濃度	1号炉	ppm	25.9	32.0	27.1	28.5	34.1	35.1	32.4	31.1	27.4	27.6	27.2	27.4	29.7
	2号炉	ppm	25.9	32.0	27.1	28.5	34.1	35.1	32.4	31.1	27.4	27.6	27.2	27.4	29.7
備 考			連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定	連続測定

3. 冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った日(規則 第4条の5の2第1項第2号 ヌ 関係)

区 分	1 号 炉	2 号 炉
冷 却 設 備 (急 冷 塔)	平成27年4月13日 平成27年7月6日 平成27年11月30日	平成27年4月13日 平成27年7月6日 平成27年11月30日
排ガス処理設備(バグフィルター)	平成27年12月6日	平成27年12月6日

4. ばい煙又はばい煙濃度測定結果 (規則 第4条の5第1項第2号 カ 関係)

区 分	排出基準	単位	1 号 炉		2 号 炉	
			1回目	2回目	1回目	2回目
排ガスを採取した年月日			平成27年7月23日	平成28年1月21日	平成27年8月12日	平成28年1月28日
結果が得られた年月日			平成27年8月3日	平成28年2月4日	平成27年8月24日	平成28年2月4日
硫酸酸化物濃度(※排出基準)	K値17.5で測定される排出基準	K値	0.02	0.02	0.01	0.01
ばいじん濃度	0.25	g/m3	0.003	0.005	0.003	0.003
窒素酸化物濃度	250	ppm	81	82	60	52
塩化水素濃度	700	mg/m3	8.0	6.0	5.0	10.0

5. 排ガスのダイオキシン類濃度測定結果 (規則 第4条の5第1項第2号 カ 関係)

区 分	排出基準	単位	1 号 炉	2 号 炉
排ガスを採取した年月日			平成27年7月23日	平成27年8月12日
結果が得られた年月日			平成27年9月15日	平成27年9月15日
排ガス中のダイオキシン類濃度	5.0	ng-TEQ/m3N	0.230	0.200

【検査項目】

ばいじん濃度：物が燃焼するときに発生するものうち、すす、完全に燃焼した灰分、燃焼ならびに熱分解による固形粒子。

塩化水素濃度：塩化ビニール樹脂等の燃焼の際に発生する、刺激臭を有する無色の気体。

窒素酸化物濃度：石油、ガス等燃料の燃焼に伴って発生する。

硫酸酸化物濃度：石油や石炭を燃やすとそれらに含まれている硫黄分が酸素と結合して発生する。

ダイオキシン類：塩素、酸素、炭素、水素の存在するところで、物が燃焼するときに発生する有機化合物。